

昭和 49 年卒業生 京都大学経済学部卒業 50 周年記念同窓会

1 年以上前から始まった準備活動

同窓会の準備が始まったのは令和 5 年 10 月後半のある日のこと。筆者の奥田と久米川武士さんの二人からスタートした「50 年の時空プロジェクト実行委員会」は、最終的には 20 人の幹事団により準備を進めました。1 年以上の準備期間を経て、晩秋の令和 6 年 11 月 28 日に、京都大学百周年時計台記念館 2 階の国際交流ホールを会場にして盛大に開催されました。幹事団の中心になったのは、クラス主幹事の耕章さん、久米川武士さん、堀井滋さん、博多一恭さん、渡哲郎さんと私の 6 人で、節目ごとに ZOOM 会議を開き、開催案内、当日のシナリオなどを確定していきました。

幹事団全員で名簿作りに注力、57 名が参加

今回の同窓会の対象者は、45 年入学者の 222 名とその他の 49 年卒業生の 38 名の合計 260 名。事務局から提供された名簿を手掛かりに、幹事団のネットワークを駆使して連絡先の情報収集に当たり 165 名の連絡先を突き止めました。63 名の連絡先が最後まで不明でしたが、死亡が判明した方 32 名と合わせて 197 名の消息が判明しました。そうした努力の結果、当日の参加者は 57 名となりました。

50 年の時空を超えて交流できた喜び

同窓会は 2 部で構成し、12 時 45 分開始の第 1 部ではクラス別の写真撮影を行い、逝去された 32 名の方

に黙祷を捧げました。来賓には、若井克俊経済学部長、田中彰教授、同窓会事務局の田村利恵さんと山田浩之様、池上惇様、野澤正徳様の 3 人の恩師にご出席いただきました。第 1 部のメインは、実行委員長の有賀健さんによる「自営業者の近代～失われた 30 年を地方都市から振り返る」と題した記念講演でした。第 2 部の懇親会は 14 時から開始。堀井滋さんと山本明夫さんの二人の司会により、恩師からのお言葉、参加者からのスピーチなどで瞬間に時間が経過し、最後に「50 年の時空を超えて」再会できたことを喜びながら、琵琶湖周航の歌を全員で輪になって斉唱し、名残惜しい中、16 時に終了しました。

報告 奥田 久美 (昭和 49 年卒)

